

県からのお知らせ

障害のある人のための職業訓練の生徒募集

障害のある方で、現在求職活動中の人を対象に、委託先の企業や社会福祉法人、特定非営利法人、民間教育訓練機関などで、就労に役立つ技術を学ぶ訓練生（1月入校生）を募集します。

【対象】身体障害、知的障害（下の①を除く）、
精神障害、発達障害のある人

【訓練コース：定員】

- ①パソコン技能習得コース：40人
- ②作業実務コース：56人
- ③企業実践コース：12人

【訓練期間】1～3カ月

【募集期間】11月1日（木）～26日（月）

※②および③は1月25日まで随時受付

【問合せ】県立障害者高等技術専門学校

☎ 043-291-7744

講演会・公開講座

デンタルヘルスちば21

8020運動の一環として、食育と歯科保健について考える
平成19年千葉県口腔保健大会です。

【日 時】11月15日（木） 13時～16時30分

【会 場】千葉市文化交流プラザ音楽ホール
（JR千葉駅から徒歩5分）

【内 容】表彰式、「生涯の心身の健康を支える食育」を
テーマとするシンポジウム

【入場料】無料

【問合せ】千葉県歯科医師会

☎ 043-241-6471

市民公開シンポジウム

「病院における放射線の被ばくを考える」

第1部は「放射線画像診断の必要性」と「放射線の人への影響」と題する基調講演、第2部は「CT検査を安心して受けていただくために」というテーマでパネルディスカッションを行い、第3部で質問と討論を行います。

【日 時】11月18日（日） 13時～17時

【会 場】千葉大学西千葉キャンパス内「けやき会館」

【入場料】無料

【問合せ】千葉大学医学部附属病院放射線部（加藤）

☎ 043-226-2335

こども病院県民公開講座

おねしょや肥満など、ちょっと気になる子どもの話題をテーマに、
こども病院の医師が講演します。託児室もあります。

【日 時】11月25日（日） 14時～16時

【会 場】鎌取コミュニティセンター（JR外房線鎌取駅から徒歩5分）

【定 員】200人（当日先着順）

【入場料】無料

【問合せ】県こども病院医事経営課

☎ 043-292-2111

ブックレビュー
医師会員の著書

大きく息を吸って

—呼吸器外科医として歩んだ40年

藤澤 武彦 著



日経BP企画刊
208P／定価1680円

近年の政府の医療
制度改悪の影響は、私
ども開業医のみならず、
大学の医学部や附属
病院にも及んでいます。
なかでも大学の附属病
院の勤務医は、昼夜に
かかわらず患者さんの

対応に追われ、疲れきって退職をする人も多く、その負担が残った医師に重くのしかかるといった悪循環がみられます。私も勤務医の方の「このままでは、やっていけません」という悲鳴に似た声を数多く聞き、心を痛めているひとりです。

大学の附属病院が今、どうなっているのか、何が問題なのか。それを物語ってくれるのが、本書です。著者は千葉大学に45年間籍をおかれ、教授、附属病院長、理事・副学長を経て本年3月に退任、現在は財団法人ちば県民予防財団理事長、千葉大学特任教授をされています。私は藤澤先生が旧知の同窓の医師というだけでなく、千葉県の未来の医療に大きく貢献される力を持った方と思っています。それだけに、先生がどんな思いで病院改革を進めて来られたのかに興味を持ち、本書をひも解きました。

しかし、本書を最もよく読んでいただきたいのは、医師に対して不信感を抱いている方々です。『「大きく息を吸って」—これは、私たち医師が聴診器を手にもっと多く患者さんにかける言葉のひとつでしょう。この言葉から患者さんとのコミュニケーションが始まるといってもいい。これまで何万回、何十万回も言ってきた言葉ですが、いま改めてこの言葉の大事さをかみしめているのです。』（本書より）

藤澤先生のこの言葉に、現今の医療不信を解消する手掛かりがあるような気がしてなりません。

【評】藤森 宗徳（千葉県医師会会長）

【健康メモ】放送予定

NHK 千葉放送局のFM ラジオ番組「ひるどき情報ちば」(11 時～12 時)内で放送(周波数:千葉 80.7 / 銚子 83.9 / 勝浦 83.7 / 館山 79.0)。テーマ、出演医師は変更になる場合があります。なお、第1火曜日は歯科領域がテーマとなります。

11 月 13 日(火)

失語症について

内田 勝久 医師(千葉県医師会編集広報委員)

11 月 20 日(火)

子供の冬の病気について

大濱 洋一 医師(大濱医院院長)

11 月 27 日(火)

前立腺癌・前立腺肥大

岩田 真二 医師(岩田クリニック院長)

12 月 11 日(火)

産婦人科医療の現状①

生水 真紀夫 医師(千葉大学大学院生態機能病態学教授)

12 月 18 日(火)

産婦人科医療の現状②

生水 真紀夫 医師(千葉大学大学院生態機能病態学教授)

12 月 25 日(火)

周産期救急について

吉岡 英征 医師(吉岡産婦人科医院院長)

編集後記

リニューアル第3号をお届けします。リニューアルの一環として、今号は紙質を変えてみました。印刷物は紙質によってもイメージが変わります。読者の皆さんは、どんな印象を持たれたでしょうか?

次号(第24号)は、年が明けた1月下旬の発行予定です。したがって、本号が今年最後の発行になります。今年の干支の「亥」は、十二支の最後の干支です。「亥年」は動乱の年とされますが、途中はともかくとして「終わり良ければすべて良し」といきたいものです。

読者の皆さんが、良い年越しをされるように願っております。ちょっと早いのですが、来年もよろしく願いいたします。

◎ 本誌や医師会に対するご意見は、葉書または封書でお送りください。送り先は下記、広報課内「読者の声」係としてください。

ミレニアム

通巻 第23号

2007 年 10 月 31 日発行

社団法人 千葉県医師会 広報課

〒260-0026 千葉県中央区千葉港7-1

☎ 043-242-4271 (代)

www.chiba.med.or.jp

こども急病 電話相談



受診した方が良いのか、
様子をみても大丈夫なのか、
看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

ブッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、局番なしの

#8000

#8000は、銚子市及び旭市の一部(旧西阿部・旧海上町)の地域からはご利用いただけません。

●ダイヤル回線、#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合
☎043(242)9939

●相談日時
① 相談 日: 土曜日・日曜日・祝日・振替休日
年末年始(12月29日から1月3日まで)
② 相談時間: 午後7時から午後10時まで

緊急・重症の場合は迷わず「119」へ

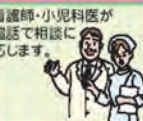
お子さんの急な病気で心配なとき...



局番なしの
#8000
または、
043(242)9939



看護師・小児科医が電話で相談に応じます。



実施: 千葉県 運営: 千葉県医師会

電話がつながるとアナウンス(自動メッセージ)が流れます。

最後に、「ご承諾いただける場合は①をブッシュしてください。ご承諾いただけない場合は②をブッシュしてください。最初から説明を聞く場合は③をブッシュしてください。①をブッシュした場合は、「では、担当者が出ましたら、まずお子さんの氏名、住所、電話番号、性別と名前をゆくりお伝えください。」②をブッシュした場合、「電話をお切りください。ご利用ありがとうございました。」③をブッシュした場合、ガイダンスの最初に戻ります。」

なお、相談者には通話料金がかかっておりますので、ご承知おきください。

イベント

心の健康フェア2007 in ちば

【テーマ】私の街で楽しい暮らしを～障害者自立支援法がスタートして～
【日時】11月7日(水) 10時～15時10分
【会場】青葉の森公園芸術文化ホール(千葉市中央区青葉町)
【内容】シンポジウム、室内楽演奏、心の健康相談、作品展示など
【入場料】無料
【問合せ】千葉県精神保健福祉センター相談指導課
☎ 043-263-3891

第28回 健康市川市民の集い

【テーマ】寝たきりにならないために——かかりつけ医を活用しよう——
【日時】11月10日(土) 14時～16時
【会場】市川市医師会館(京成市川真間駅前)
【内容】座談会、転倒予防体操、講演など
【入場料】無料
【問合せ】市川市医師会
☎ 047-326-3971